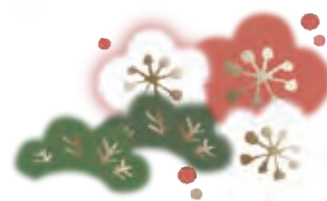


新春ごあいさつ



運営委員会 会長

田沼征彦



県本部長

小田島 利昭

あけましておめでとうございます。

J Aいわてグループの会員J A組合員役職員ならびにご家族の皆さま方には、お揃いで新しい年をお迎えのことと存じます。

さて、昨年を振り返りますと、震災後3年が経過したにも関わらず、依然として原発事故に伴う農畜産物の出荷制限や風評被害等が農業に与える影響は大きなものであります。加えて、景気回復を優先するアベノミクスでの円安誘導等による生産資材の値上がりや、26年産米の大幅な下落など、本県農業にとって試練の年となりました。また、農業J Aを取り巻く情勢は、内容が不透明なまま進められているT P P交渉や、政府の規制改革会議から一方的に農協改革を求められるなど、J Aグループに対する風当たりが強い状況となっております。

こうしたなかJ Aいわてグループでは、第43回J A岩手県大会で決議された実践指針「持続可能で力強い『純情産地いわて』の確立、農を通じた豊かで暮らしやすい地域社会の実現、組合員・地域住民等へのニーズ

に十分に応えうる組織・経営基盤の確立」の実現に向け、系統組織一丸となって取り組んでおり、本年は取り組み3年目となることから結果が求められる年となります。

そのためには、「農は国の礎」精神を大切に、「協力同心」のもと、地域農業を支える担い手を中心に力と心を合わせ、「純情産地いわて」としての産地を確立していかなくてはなりません。全農岩手県本部としても、「農業生産基盤維持拡充」を最重要課題として、J Aとの一体的な事業運営を行い、元気な産地づくりに取り組んでまいります。そして、J Aグループの組織事業改革問題については、協同組合運動の原点に立ち返り、自己改革を通じて組合員の負託に応え得る事業を展開してまいります。

新しい年を迎え、本年も皆さまの変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げますと共に、益々のご健勝とご発展を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年明けましておめでとうございます

今年の干支「ひつじ」は古来より、五穀豊稔のシンボルであります。今年こそは気象災害のない穏やかな年となり、生産者・組合の皆様にとって素晴らしい一年であつて欲しいと願っております。

さて、昨年は「農業改革」「農協改革」が声高に叫ばれ、加えて米価の下落や円安による飼料や燃油など生産資材価格の高止まりなど、農業そしてJ Aグループを巡る環境はこれまでない逆風にさらされた二年となりました。とりわけ農協改革については、中央会のあり方や全農の株式会社化に議論が集中しておりますが、本筋はJ Aグループにおける経済事業の在り方にあると考えております。環境要因が大きく変化する中で、生産面では農家の高齢化と大型法人化の進展そして消費面では人口減社会での消費の減少と多様化であり、このことにこれまでの共販共同仕入れというビジネスモデルだけではついていけなくなっていることによるものです。

私たち全農としては、総合運営委員会の協議において、将来の目指す方向としては①プロダクトアウトからマーケットインへの事業転換 ②生産から販売までのトータルコスト

低減の実践 ③農産物生産にかかる多様化する農業者ニーズへの対応強化ということ

確認し、J Aグループの自らの改革案に明記させていただきました。全農岩手県本部といましては、すでに実践している中身もありますし、難しい課題でJ Aの皆様と連携しなければならぬ事項も沢山あります。明日と言わず今日から一つひとつ実践してまいることが、全農改革であると考えています。

本年は、平成28年からの次期3か年計画に向けたステップの年であり、次の3点を重点に取り組みたいと考えております。第1に、「引き続き」園芸・畜産基盤の維持拡大を重点点にし、特に畜産においては「生産指導課」を設置し生産性の向上にも努めます。第2は担い手対策、J Aの皆様から指定いただいた法人組織に足を運び要請課題について特区的対応を致しながらニーズを把握してまいります。第3は米作経営のトータルコストの削減に向けて、直播栽培の普及拡大、飼料用米の多収安定化そして低価格資材の開発などに取り組みます。

本年も「純情産地いわて」の躍進のため、職員一同全力で取り組みますので、皆様のご指導、ご支援を宜しくお願い申し上げます。

タイトルのKlara (クララ) は、宮沢賢治の手帳にのしるされている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。

純情産地発
クララ
vol.786

KLARA

2015
1

contents

新春ごあいさつ	02	新春エッセイ	07
特集 生産コスト低減の取り組みと 事業競争力強化について	03	いわて純情むすめ ハーフタイム	08
細胞イキイキ、老化を遅らす“応援レシピ” 「いただきま〜す!」	06	岩手の、JA……ご当地キャラ大集合 いわての農畜産物はわたしたちにまかせてね!	10
		各部発直行使 TOPICS	14
		イーハトーブの担い手便り	15

特集

生産コスト低減の取り組みと 事業競争力強化について

資材部

みんなの力で!



がんばろう!岩手
純情産地いわて

JA-POP甲子園 2014(全国大会) JA-POPオリンピック(東北大会)

ジェイエース・ラウンドアップ部門 大型陳列 審査員賞 一等地部門 金賞



JAいわて中央 「グリーンセンター都南」

平成26年度 JA-POPディスプレイコンテスト(岩手県大会)



簡易ディスプレイ部門 最優秀賞 JAいわて花巻「笹間支店」



大型ディスプレイ部門 最優秀賞 JAいわて平泉「大東営農経済センター」

1. 肥料・農薬情勢

肥料 農薬の需要は、世界的な食糧需要により高まっております、安定的な原料の確保が重要となっております。

また、国内を見ると、米価の下落や新たな農業政策により、我々を取り巻く事業環境は厳しさを増しております。

そのような状況のなか、全農としては肥料原料や製品の安定的な確保と供給に向けての取り組みを引き続き強化してまいります。

II. 平成26年度 重点推進事項の取組状況

生産コスト低減の取り組みと事業競争力の強化を基本方針とし、B B肥料や農薬の系統独自品目など低コスト資材の普及拡大をはかることにより、生産者・組合員に信頼される生産資材価格の実現に取り組んでいます。

また、集落営農組織や法人等大型経営体への事業推進をJ Aと一体となつてすすめています。

1. 生産コスト低減への取組強化

「肥料」

- ① 施肥コスト・防除コストの低減対策
- ② 土壌診断にもとづく適正施肥
- ③ B B現地銘柄の普及
- ④ 省力化・低コストに向けた総合的コスト抑制肥料の開発と普及

JA-POP甲子園2014(全国大会)

ジェイエース・ラウンドアップ部門 大型陳列

審査員賞	JAいわて中央 グリーンセンター都南
------	--------------------

JA-POPオリンピック受賞店舗(東北大会)

一等地部門

金賞	JAいわて中央 グリーンセンター都南
銅賞	JAいわて平泉 東山営農経済センター
敢闘賞	JA新いわて 舌崎店

売り場部門

銅賞	JAいわて平泉 藤沢営農経済センター
敢闘賞	JA新いわて 宮古店

レジ前部門

銅賞	JAいわて平泉 萩荘支店
----	--------------

倉庫部門

銀賞	JA新いわて 川口店
銅賞	JA新いわて 西山店

各部門共通

新人賞	JA岩手ふるさと 水沢資材センター
事業所長賞	JAいわて花巻 グリーンセンター遠野

H26 JA-POPディスプレイコンテスト(岩手県)

■大型ディスプレイ部門 応募店舗:27店舗

最優秀賞	JAいわて平泉 大東営農経済センター
	JA新いわて 二戸店
優秀賞	JA岩手ふるさと 胆沢資材センター
	JAいわて平泉 千厩営農経済センター

■簡易ディスプレイ部門 応募店舗:23店舗

最優秀賞	JAいわて花巻 笹間支店
	JA新いわて ニツ屋店
	JA新いわて 葛巻店
優秀賞	JAいわて中央 グリーンセンター盛岡
	JAいわて花巻 湯本支店
	JAいわて平泉 巖美支店

(2) BB肥料担い手直送の実施によるコスト削減

	取扱数量	コスト削減額
平成25年度実績	5,507ト	63,000千円
平成26年度目標	5,600ト	64,400千円

(3) バラ(フレコン) 肥料の普及・拡大によるコスト削減

	取扱数量	コスト削減額
平成25年度実績	85,346本(30,500ト)	72,000千円
平成26年度目標	87,000本(31,000ト)	73,400千円

[農 薬]

(1) 防除コスト低減対策

①大型規格、ジェネリック農薬の普及・拡大(大型規格品供給実績)

	取扱金額	コスト削減額
平成25年度実績	481,000千円	66,000千円
平成26年度目標	500,000千円	70,000千円

②系統独自品目、重点品目のJA防除暦への採用拡大

2. 事業競争力の強化

(1) 販売部門との連携による系統独自品目の普及拡大

① 水稻農薬を中心とした系統独自品目の普及拡大による減農薬栽培への寄与

(2) B B肥料の維持・拡大

① 地域ニーズに対応した銘柄の開発・普及

② 良質米生産に向けた土づくり肥料の普及拡大

③ 期別契約にもとづく予約の向上

(3) 生産組織や大型農家に対するJ Aと一体的推進体制の構築

(4) P O Pディスプレイコンテストの開催によるJ A店舗

の活性化

以上の様な取り組みにより、生産コスト低減事業競争力の強化をはかります。



料理監修／高橋ヒサ子
管理栄養士、健康運動指導士
特定保健指導実践者
いわて糖尿病療養指導士
HACCP(食品衛生危害分析)指導者
(公社)岩手県栄養士会理事



今も昔も、なくてはならない「もち米」

お正月以外にも一年のさまざまな祭りや行事、農作業の節目や結婚式、出産、葬式などに「餅」はわが国の行事に付き物でした。その起源はかなり古く、奈良時代に編纂された『豊後国風土記』に餅が神妙な食べ物であることを物語る伝説が載っています。また『倭名類聚抄』という千年以上前の辞典にも餅が「毛知比」と呼ばれていたことが書かれています(「もちい」とは「糯飯」の意)。

「もち」と呼ばれるようになったのは18世紀頃からで、ハレの日(お祝いのある特別な日)に餅を食べる習慣が広がりました。その理由は、餅は単なる美味しい食べ物ではなく、神が宿る特別なものとして敬われ、餅を食べると力がつき、新しく生命を再生させる霊力があると信じられてきたからです。

岩手県で作付けされているもち米の品種にはヒメノモチ、もち美人、こがねもち、カグヤモチなどがあり、なかでもヒメノモチは岩手県をはじめ多くの県で最も多く作付けされています。もち米は赤飯や餅(生餅、切り餅)になるだけではなく、おかきや煎餅などの米菓材料、みりんや米粉などの加工用として、なくてはならない存在です。



もちピザ
栄養量
411
kcal

洋風に食べる「もち料理」もちピザ

材料(4人分)

もち8個(400g)、オリーブオイル適量、トマトケチャップ適量、塩・こしょう少々、玉ねぎ・ピーマン・トマト各80g、ウインナーソーセージ4本、とろけるチーズ100g

栄養ポイント

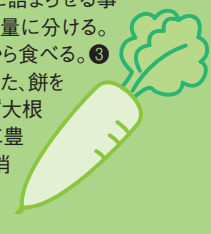
もちは「ご飯、パン、麺」と同じ主食の仲間であって炭水化物からできている。なかでもカロリーが高いのが「もち」。50gのもち2個はご飯1膳分(150g)のカロリーに相当する。糖尿病や中性脂肪が高い人は「もち」の食べ方に注意が必要である。もちだけの単独メニューにならないよう、主菜(肉、魚、卵、大豆製品)と副菜(野菜、海藻)をプラスしてバランスを良くすることが肝要。

【応用】もちグラタン

材料…もち8個(400g)、オリーブオイル適量、ホワイトソース缶80g、エビ8尾、ブロックチーズ150g、とろけるチーズ120g、こしょう少々(好みで)

大根おろしの力

餅のでんぷん成分はアミノペクチン。この分子の構造は枝分かれしているため、からまりやすくなって粘り気がある。粘着力・付着力が高く、噛み切りにくい「餅」は飲み込む力の低下した高齢者などには窒息リスクのある極めて危険性が高い食べ物。喉に詰まらせる事故を防ぐ食べ方は、①餅は少量に分ける。②口の中を十分に湿らせてから食べる。③おしゃべりしながら食べない。また、餅を食べ過ぎて胃もたれたときは「大根おろし」を食べると良い。大根に豊富に含まれている「でんぷん消化酵素」のジアスターゼが胃腸を整えてくれる。



プロフィール(すぎもと よしたけ)
1944年盛岡市生まれ。1963年県立盛岡工業高校工芸科(現建築デザイン科)卒業。1965年IBC岩手放送入社。テレビCM、報道、制作、編成の美術担当。2004年定年退職後フリーランスグラフィックデザイナー、アートディレクター。
[主な受賞]岩手県優秀美術選奨、県教育表彰、民間放送連盟賞CM部門最優秀賞、ACC全日本CMフェスティバルACC賞、ギャラクシー賞CM部門奨励賞、世界ポスタービエンナーレヤマ展入選、ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ展第4位特別賞、メキシコ国際ポスタービエンナーレ展入選、モスクワポスタービエンナーレ展入選、フランスショモンポスタービエンナーレ展入選、フランス革命200周年祭記念人権ポスター展招待作品世界の66人選出、フィンランドラハチ国際ポスタービエンナーレ展第4位特別賞、スロベニアBIO16インダストリアルデザイン展グランプリ(日本代表メンバー)、平成26年度文化庁地域文化功労者表彰ほか。
現在、盛岡市都市景観形成推進委員、日本現代詩歌文学館企画委員、萬鉄五郎記念美術館運営委員、岩手広告美術展審査員。



新春エッセイ

杉本吉武

冬

到来のニュースを聞くと同時に気が重くなる人や一方では嬉々として元気づく老若男女がいる。北国に暮らす年配者ならほとんど前者の方々だと思うが真冬日の街を抜け出し更に厳しい冬山に向かう人もいる。丁度まとまった降雪があると反射的に小屋から飛び出す子犬みたいな感覚かも知れない。

私なども年齢を重ねる毎に自分の運動能力の限界を分かって来ているのでこの頃はせいぜい雪かきに飛び出すぐらいになってしまった。

冬山は銀世界そのものであるが無彩色の中に色が存在するとすれば焦茶色の林とトド松の濃いモスグリーンぐらいである。ゲレンデは巨大なキャンバス状になる。そのキャンバスに向かってカラフルなウエアが縦横に色を置いて去りまた新しい色が入って来る。まるでスキーヤーとボーダーがアクシオンペインティングしているアーチストの様である。

—冬に想う—

ゲレンデで以外と目立つウエアは白でエレガントな色である。雪山は白一色の世界で白は原色の多いウエアの中でもよく目立つ。私も若い頃西独ブランドのエナメルホワイトで決め込んだりしていた。後年蛍光カラーの素材も出てきて雪に反射して幻想的である。

小学校に入る前からスケートに打ち込んで社会人になってからはスキーで冬に鍛えた。今みたいに暖房が効いた部屋でテレビやゲームなどない時代なので外に出て氷、雪と戯れるしかなかったがみんな工夫しながら遊んだ。

家から30分ぐらいの盛岡の高松の池は戦前戦後を通じてインカレ、国体などが開催された全国でも有名な天然リンクのメッカであった。近年の暖冬化により全面結氷に至らず滑走出来なくなつて久しい。私も小学校の頃から高松の池が結

氷するのを心待ちしていたものだ。当時は下駄スケートしかなかったの言葉通り氷上では全く刃が立たず盛岡工、盛岡農などの選手の滑走を日没まで見るだけだった。池を囲む堤は急坂になっていて滑っている人は見えない。しかしスケートのエッジが交叉する乾いた金属音と氷上の歓声で人出が予想出来た。はやる心が一気に坂を駆け上がりリンクを一望した。滑りたくないので東側の選手用リンクへ向かう。その日は見た事のない深い緑青の氷上であった。普通雪が降って結氷する白い銀盤が多い。その年は冷え込みが続き零下16度近くになり一晩で結氷、油氷と言つても今の人は分からないと思うが池の底がそのまま凍った様なクリアな水である。陽が当たっても融けにくく氷に粘りがあり大理石を水でなぞつた感じで今もって私はその日の油氷とスケーターを冬になると思い出も周回する。

もう30年近く前になるか盛岡市が冬季五輪招致運動を市民挙げて盛り上がった事がある。そのとき内外にアピールする旗印ともなるPRポスターのデザインを盛岡



市出身の当時日本を代表する資生堂アートディレクターの中村誠さん、そして私に実行委よりデザインを依頼された。中村誠さんは郷里の素晴らしい自然美を帰省する度に「私の創造の原点は岩手の冬にある」と常々熱く語ってくれた。中でも厳冬の岩手山の裾野辺りの大雪原は何も描いていないケント紙かキャンバスの白に例えていた。この事はクリエイターは常に真つさらな気持ちに戻ってゼロからデザインを発想してそのアイデアを定着させて行く。そのため仕事部屋の机上には常に白いケント紙を用意しておくと言っていた。雪の白、ケントの白その想いと対峙しながら清新で簡潔なポスターの名作を残して行った中村誠さんの創作の原風景は岩手の冬にあったのかも知れない。

岩手の風土と四季はそれぞれ私達の感性を時に鋭くさせる。厳しい冬を乗り越え多くの賢人、偉人を育んで来た。そこには温もりのある食文化も大きく作用しているかも知れない。岩手の冬模様はあくまで純でゆつくりと舞い落ちる初雪のようだ。その結晶は懐かしく温もりを持って私の中で一瞬煌めいて消えてゆく。みちのくの春はまだ遠い。

2014 いわて純情むすめ ハーフタイム



2014いわて純情むすめの活動も早くも半年が過ぎました。今までの活動を振り返り、各々の自由な思いや考えを語ってもらいます。司会進行役は、美味しいもの大好き、食べること大好き、りっちゃんこと佐藤里沙子さんです。

——若い世代をターゲットに歌って踊って「純情産地いわて」をPRしていますか、やってみたいの感想、手ごたえは？



佐藤真美



四戸 藍



佐藤 里沙子

佐藤(真) 若者にPRすることですごく難しいな

なつて感じました。ラジオやステージ活動を通じて若い世代にPRしようとしても機会がなかなかないし、どう伝わっているのかっていうのもわからない。じゃあどうすればいいのかなて考えたときに、SNSが一番効果が大きいなつて思いました。最近では自分のツイッターで、ラジオの告知をしたりして行動しています。

橋本

私は歌とダンスでのPRですごくいい活動だなつて思います。ただ立つて販促するより目立つし、そこから興味を持つてもらふことつて多いと思います。一関での活動の時に、ラジオ聞いてるつていつてくれた人いませんでしたっけ？ あー！お姉さんファンなんです！つていつてくれた女の子？

四戸

そうそう！つちやな女の子なんだけどラジオを毎回楽しみに聴いてくれてるんだつて知つて、若い人にジワジワと広まつてゐるんだつて実感したんです。私もみんなと同じようになかなか難しいと感じています。ただ、同級生に言われて気づいたのは、ラジオのCMを通勤・通学の時間によく耳にすると

四戸

橋本

て美味しいのかつていう、深い部分まで全国の消費者の皆さんにお伝えするのが、これからの私たちの仕事なのかなつて感じました。

橋本

確かに、岩手の美味しい農畜産物いかがですか？つてだけじゃなくて、どういった特徴があつて美味しいのかつて伝えていかなきゃね！

四戸 工藤

私も岩手の農畜産物を知つてくれている人は全国的にも多いと思います。全国物産展の販促活動に参加させて頂いた時も、岩手のりんごをわざわざお取り寄せいただいているお客様がいらつしました。岩手の農畜産物を知つてただじゃなくて、選んで頂いているつてことにとても感動して。そういつたファンを増やしていくことが私たちの仕事なんだつて実感しました。

橋本

今までの私の中では、県外の人は岩手の農畜産物つてあまり食べてないイメージでした。でも純情むすめの活動の中で、岩手のもの良く食べてるよ、美味しよねつていう県外の人の声を凄く耳にして。岩手の農畜産物つて県外の人にも身近な存在なんだつて実感しました。

佐藤(真)

私も同じで、岩手のものを知つていて、選んでくれる消費者の方つて全国にとっても多いと活動を通して感じました。

工藤恵衣



橋本和香奈

四戸

工藤

やつぱり歴代の純情むすめの皆さんが頑張つてきたからなんだろうね。26代

一同

ただ一度だけ、東北の農畜産物は買わないつていう消費者の方がいらつして、恐らく風評被害なんだろうつて思ったんだけど、その時はただただ悲しく何も言えませんでした。りっちゃんが言つたように、岩手の農畜産物の違い、どうして安全安心なのかつていうことを伝えられればまた違つたんだろうけど。

四戸

そうだよ。岩手を東北ひとくくりで認識してる人も多いと思う。それでいいこともあるし、逆に悪いイメージを持たれることもあるかもしれない。岩手独自のいい所をもつとPRしていく必要があるなつて。特に岩手が好きだから知つてくれる人じゃなくて、ほんやりとしか知つていない人たちに向けて伝えれたらなつて思います。

佐藤(里)

私たちのミッションは岩手のファンを増やすことだからね。

工藤

そうだね。今でも岩手のファンはたくさんいるつて感じてたけどもつと頑張らなくちゃ。

か、あの曲すぐく耳に残るねつて言われて。もつと人の耳に届きやすいところで活動するつて重要だなつて感じました。スーパー、コンビニとかで私たちの曲や純情産地いわてのメッセージを流したり、朝の通勤・通学の時間帯にラジオCMをおこなうつて凄く効果的でこれからやつていければいいなあつて考えています。

佐藤(里) あいちゃん、考えてるね(感嘆) 拍手

一同

四戸

えへへ(照) ステージ活動当初は私たちにも照れな人もあつたけど、最近のステージ活動なんかでは、小さい子供たちが一緒に踊つてくれたりするのがよく目に入ります。リズムに乗せて踊るつていうだけでも小さい子供には受けるから、曲だけで私たちの活動を少しでも知つて感じてもらうことつていいなつて思いました。

佐藤(里)

私もそうですね。ステージにもそろそろ余裕ができたので、手拍子とか途中のMCでもつと盛り上げていければなと思います。他には、イベントそのものにもつと若者が来てくれる環境を作ればと思います。農業祭つていつても農業だけじゃなくて、出店とかステージとかいろいろ楽しいイベントなんだよつていう風に伝えることで、若者も興味をもつてくれると思います。

目の私たちは新しい視点で岩手の農畜産物の魅力を伝えていかなきゃ。

——これから、さらに岩手県産農畜産物をPRするためにはどのようなことが必要だと思いますか？

橋本

今やつてゐる活動は凄く良いと感じます。その内容をもつと充実させるために、私たちがもつと勉強しなきゃつて思っています。お米の試食イベントで他県と岩手の食べ比べをしてみたらぜんぜん味が違つて。やぱり実際に自分が食べて勉強しないと消費者にはぜんぜん伝えられないなつて気がしました。

四戸

紙面上の知識だけじゃなくて、自分たちが食べて、実際に感じたことも消費者の皆さんに伝えたいね。

佐藤(里)

さらにそこから、この食材にはこれが合いますよ！つていう提案までできるぐらいまでしたいよね！

工藤

りっちゃんの料理は凝つてるからねえ(笑)

佐藤(真)

私は周りの友達とかに、どうしたら若い人たちが岩手の農畜産物を買つてくれるかつて聞いてみました。そうしたら、やっぱ『価格』つて言う人は多かつたです。なので、岩手の農畜産物お買い得デーを作つて全体的にPRするとかいいんじゃないかと思ひます。他には岩手県内の人つてあんまり県産食材つて意識して買つてないんじゃないのかつて感じます。県内のスーパーとかで、地元の人に地元食材のよさを知つてもらふ機会を多くしてもいいんじゃないのか

四戸

なつて思ひます。

橋本

スーパーとか実際に手にとつて選ぶ場所、どうやつて岩手県産をPRできるのかつて大事だよ、ポップだつたり

佐藤(里)

私も岩手の人にもつとPRしていくべきだと思います。『味方』を増やすつて値段だつたり。

四戸

そうだよ。興味をもつてイベントに来てもらうことで、農畜産物に知つてもらえる機会が生まれるわけだから良いよね。

佐藤(里)

うん、そこで私たちの歌と踊りのパフォーマンスとかで興味を持ってもらい、クイズ大会で純情ブランドを知つてもらつたり、まみりんが言つたSNSを活用して人をさらに集めたりね。

橋本

それだと大学の学園祭なんかでも凄く効果的だったよね。

四戸

うん、一番盛り上がったステージだったしね。

佐藤(里)

だね、面白半分で初めは見てたとしても、それがきっかけで何かしら伝えることができるもんね。

一同

——純情むすめから見て、岩手の農畜産物を全国の消費者はどのように捉えていると感じますか？

佐藤(里) 全国各地で活動をして感じたことは、岩手＝美味しいものつていうイメージは皆さん持っている気がします。販促活動していても、「岩手のものだったから美味しいよね」といつてくれる消費者がたくさんいて、凄くことだと思ひました。これからはさらに踏み込んで、岩手のどこの何が、どんな特徴があつ

いうのかな、岩手の人たちに地元食材の良さを知つて誇りをもつてもらふことと、一人一人が全国にその良さを伝えたいかなつて思ひます。スーパーには毎日くるお客様もいるから、そういうところに私たちがもつとお邪魔すること、興味を持つてくれる人も増えるかなつて。あとはせつかく純情むすめのフェイスブックがあるんだから、私たちが県産食材を使つてゐるお店とかにお邪魔してレポートしてみたり、実際に県産食材を調理してそれをアップしてみたり。自分たちの勉強にもなるし、もつと多くの人に情報発信できるんじゃないかと思ひます。

四戸

スーパーでも活動をもつと増やしていきたいなつて思ひます。スーパーには毎日くるお客様もいるから、そういうところに私たちがもつとお邪魔すること、興味を持つてくれる人も増えるかなつて。あとはせつかく純情むすめのフェイスブックがあるんだから、私たちが県産食材を使つてゐるお店とかにお邪魔してレポートしてみたり、実際に県産食材を調理してそれをアップしてみたり。自分たちの勉強にもなるし、もつと多くの人に情報発信できるんじゃないかと思ひます。

工藤

私も岩手の人たちに地元食材の良さを知つて誇りをもつてもらふことと、一人一人が全国にその良さを伝えたいかなつて思ひます。スーパーには毎日くるお客様もいるから、そういうところに私たちがもつとお邪魔すること、興味を持つてくれる人も増えるかなつて。あとはせつかく純情むすめのフェイスブックがあるんだから、私たちが県産食材を使つてゐるお店とかにお邪魔してレポートしてみたり、実際に県産食材を調理してそれをアップしてみたり。自分たちの勉強にもなるし、もつと多くの人に情報発信できるんじゃないかと思ひます。

四戸

私も岩手の人たちに地元食材の良さを知つて誇りをもつてもらふことと、一人一人が全国にその良さを伝えたいかなつて思ひます。スーパーには毎日くるお客様もいるから、そういうところに私たちがもつとお邪魔すること、興味を持つてくれる人も増えるかなつて。あとはせつかく純情むすめのフェイスブックがあるんだから、私たちが県産食材を使つてゐるお店とかにお邪魔してレポートしてみたり、実際に県産食材を調理してそれをアップしてみたり。自分たちの勉強にもなるし、もつと多くの人に情報発信できるんじゃないかと思ひます。

一同

そういつたのを活用して岩手の旬の農畜産物をPRしていければいいと思う。純情むすめが握りましたおにぎりとか？

橋本

私たちが握るかは置いといて、それぐらい身近な企画だといひね。

四戸

爆笑

一同

私たちが握るかは置いといて、それぐらい身近な企画だといひね。

からの故郷はここだよ！ ご当地キャラ生息 Map

日本で唯一、JA単位で特別栽培リンゴの生産・販売に取り組んでいるよ！農業や化学肥料の使用量を慣行栽培の半分にしているんだ！他にも、もち米「ヒメノモチ」は、JAいわて中央管内が日本有数の生産地でもあるよ！

☆特産
オールスターズ



☆久慈寒次郎

岩手県のほぼ半分を管内とするJA新いわてでは、米や野菜、花卉、畜産酪農などたくさんの農畜産物が生産されており、その生産量は全国でもトップクラスとなります。園芸では特にキャベツやホウレンソウ、リンドウなどが盛んです。

JAいわて花巻管内は東西120kmにわたり気候風土が様々。「花巻」は国内有数の雑穀産地、「北上」は二子さといもやアスパラガス、「西和賀」はリンドウや雪下キャベツ、「遠野」はホップ、「釜石・大槌」では松茸など、「愛農土」で育まれた特色ある農産物がたくさん存在しているぞ！

JA新いわて

☆ミミちゃん



JAいわて中央

JA岩手ふるさと管内は、「前沢牛」「いわて奥州牛」「奥州米」「ピーマン」「リンドウ」「アスパラガス」「ブチヴェール」が特産品だよ！前沢牛は、全国肉用牛枝肉共励会で名誉賞受賞と、全畜連肉用牛枝肉共進会で最優秀賞を受賞し、日本一に輝いたばかりなんだ～☆

☆ライ夢くん



JA岩手ふるさと

JAいわて花巻

JA江刺

JAおおふなと

JAいわて平泉

JAいわて平泉管内にはトマトやナス、ピーマン、キュウリ、ミニトマト…と、おいしい野菜がいっぱい！販売額はナスが東北1位、トマトが県下1位の実績なんだって。あと、いわて南牛や小菊、リンドウなど有名な産地だよ。

☆このみん



JAおおふなと管内ではキュウリ、菌床しいたけ、米などの作物を主に栽培しているよ！柿を加工した「ころ柿」も有名！私と同じ名前の陸前高田市のブランド米「たかたのゆめ」は震災復興のシンボルなので、全国の人に食べてもらえるようPRしているよ！

☆たかたのゆめちゃん



☆ジョナくん



特集

岩手の、JAの……ご当地キャラ大集合

いわての農畜産物は わたしたちにまかせてね！

スマホで
動画AR



☆いわて純情むすめ

スマホをかざすと
動画が見られます。



スマホで動画ARのマークが付いた表紙の写真にスマートフォンをかざすと、動画で特集を楽しめます。「App Store」または「Google Play (Play ストア)」から専用アプリ「marcs (マークス)」をダウンロード (無料) します。アプリ起動後、写真にかざすと動画が見られます。〈動画配信期間〉H.26.12.26 ~ H.27.2.25

左の二次元コードからダウンロードできます。※一部端末では正常に動作しない場合がございます。



左の二次元コードからダウンロードできます。※一部端末では正常に動作しない場合がございます。

JA県下統一誌面

新いわて、いわて中央、いわて花巻、岩手ふるさと、江刺、おおふなと、いわて平泉、岩手県中央会、全農いわて

JA岩手ふるさと

アースくん・パーラちゃん

ライ夢くん



産直来夢くん
においでよ!

☆所属：JA岩手ふるさと
誕生したのは、平成10年。大自然に恵まれた穀倉地帯胆江地区のコメを人になぞらえて親しみやすさを発見しています。平成24年10月にオープンした産直来夢くん（水沢区真城）によく出現するようになり、イベントごとがある際は、一緒にお祝いをし、子どもたちなどを喜ばせています。



第一子
「ガスくん」も
よろしく!

☆所属：胆沢郡金ケ崎町
アスパラガスでできたアースくんとパーラちゃんは新婚さんです。また、パーラちゃんは、第一子である「ガス君」を出産したばかり。金ケ崎町の特産品であるアスパラガスをPRするため、東京の市場に行き、同町で取れた新鮮なアスパラガスをお届けしています。特技は、子どもたちを巻き込んで一緒にダンスをする「アスパラパラパラパラダンス」です。

たかたのゆめちゃん

JAおおふなと



あそびに
来てね!

☆所属：陸前高田市
(Aid TAKATA)
陸前高田市の市章がモチーフになっていて、耳は高田松原の松をイメージし、頭の星は希望の光で満ちていて子供たちを安全な所へ導いています。
「陸前高田市ゆめ大使☆こども応援団長」として全国を飛び回り、陸前高田のことをPRしています。

JA県下統一誌面



笑味ちゃん

☆所属：JAグループ
“みんなのよい食”を応援します。



いわて純情むすめ

☆所属：JA全農いわて
“純情産地いわて”のイメージアップスタッフ。

おおふなトン

☆所属：大船渡市
東日本大震災後、大船渡市に突如現れた謎の生命体。「震災で受けたダメージから立ち直る」という人々の願いが、大船渡市に咲いていた椿の花に宿って生まれたという説が有力です。頭には椿の花が咲き、お腹には稀に水揚げされる「黄金のサンマ」の模様があります。



一緒に
あそぼう!

いっくん・みなみちゃん

JAいわて平泉



甘くて
おいしいよ!

☆所属：一関市・骨寺村荘園カボチャ研究会
一関市巖美町本寺地区でつくられている「南部一郎かぼちゃ」って知ってるかな?糖度が15度以上もあって、とっても甘いんだよ!「もっとみんなに知ってほしいなあ」と思い、市内外のイベントに登場し南部一郎かぼちゃをPRしています。

このみん (金農泉)



あうごし
黄金の郷の
妖精だよ!

☆所属：JAいわて平泉
黄金の郷に宿る妖精。このみんを生んでくれた先祖に恩返しをするために今の時代にタイムスリップしてきました!特技は農畜産物の神様を召喚することと農畜産物を食べるとその農畜産物に変身することです。名前は黄金の郷を表す「金」農業の「農」、平泉の「泉」を組み合わせています。

くじかんじろう キャベツマン



締め楯が
得意です!



自慢の
キャベツです!

☆所属：JA新いわて
「久慈寒次郎」は、久慈地方のホウレンソウのPRキャラクター。冬が旬の「寒締めほうれんそう」をモチーフに、久慈市出身の柔道家・三船久蔵十段にちなんで柔道着を着ています。荒波と寒風育ちの頑固者で柔道も得意。一本芯が通っています!

☆所属：岩手町
“東北一のキャベツ産地”岩手町のご当地キャラ。ブランドキャベツ「いわて春みどり」やご当地グルメなど岩手町のことなら何でもPR。歌や踊りなどのパリエーションも豊富です。さまざまなイベントでキラのある(?)パフォーマンスを披露しています。

JA新いわて

食農立国イメージキャラクター



家族農業は
楽しいよ!

☆所属：JAいわて中央
お父さん、お母さん、息子の3人家族で、農山村地域で家族農業を頑張る一家。食卓を囲んだり、農作業をしたり、大自然の中で虫を捕まえたり、日々の暮らしを大切に営んでいます。近いうちに家族が増えるという話も...

特産オールスターズ



☆所属：JAいわて中央
多品目の農畜産物を生産しているいわて中央管内には、特産オールスターズが!お米のパーフル、リンゴのジョナリン、ブドウのキャンベリーナ、キュウリのブルームなど... みんなで力を合わせて管内の魅力を伝えているよ!

JAいわて中央

僕たち
おいしいよ!

食育戦士 ミレットマン 二子いも丸 通称「いも丸くん」



雑穀で
愛農土パワー
満タン

☆所属：JAいわて花巻
五穀豊穡を司る食育戦士。頭部にアマランサスとハト麦、胸にはヒエやアワなどの雑穀(ミレット)を装着。みんなの声援「いい土・いい水・いい心」を合言葉とした「愛農土パワー」を源に、悪の組織「ヘンジョッカー(偏食家)」と日夜戦い続けている。

JAいわて花巻



おいでよ
二子町☆

☆所属：北上市二子町
里芋の産地として知られる北上市の二子町に「いものこの国」から舞い降りて父さんの「かしらジィ」と養子の「ズンボちゃん」と共に住んでいる。平成22年に二子町の名誉町民、平成25年には北上市の特別住民に登録されている。
※二子町のさといもは、主に子芋を食べることから「いものこ」と呼ばれ、親芋が「カシラ」、孫芋が「ズボ」と呼ばれる。

ジョナくん えさし SUN ガールズ



リンゴは
まるかじり!



おいしい顔の
あなたに
会いたい!

☆所属：JA江刺
江刺の農畜産物の魅力を全国に広めるため、JA江刺の若手女子職員がメンバーとなって販促イベントなどで活動中。「えさしSUNガールズ」という名前は、江刺産の「産」と太陽の「SUN」をかけ、産地から太陽のような明るい笑顔で全国へ農畜産物をPRするという意味を込めています!

JA江刺



構成員集合



ピーマン生産の取り組み

イーハトーブの担い手便り

——純情産地の創造者たち——

「次世代につなぐ地域ぐるみ農業の実践」

農事組合法人 HHA 泉畑〔花巻市〕
法人は地域農業を守り、担い手を育てる

農事組合法人HHA（はなまき・ハイブリット・アグリ）泉畑が所在している花巻市太田地区は、水稲や麦大豆を柱とした水田地帯で野菜、果樹、畜産を組入れた複合経営がおこなわれています。

同法人は花巻市の中心から西南に6km、単一の農業集落をエリアとしており、「JAいわて花巻集落営農ビジョン」を受けて平成16年3月に泉畑総合生産組合が設立され、平成19年に生産組合を改組して経理を一元化したオペレーター組織「HHA泉畑」と農地所有者を構成員とする「泉畑営農組合」を設立して、二階建て方式による集落営農をスタートさせたのが法人の母体となっています。

平成24年に法人化計画の見直しをおこない平成28年度の法人設立をめざすこととしましたが、一刻も早く法人化をおこない担い手を確保・育成することが重要であるとの判断から、平成26年1月にHHA泉畑を法人化、折しも地域内農家が離農し農地の受け手としての役割を果し、農地を守ることが出来ました。組合員は11名で、役員は理事4名と監事1名で初代の代表理事に戸来邦次氏（65歳）が就任、収益性の高い農業経営をめざして第2事業年度を迎えることとなりました。

複合（ハイブリッド）部門にピーマン栽培を導入

法人の前身である生産組合当時から転作作物として露地ピーマンを導入、平成26年には水稲12畝、大豆8畝に加えてピーマン1畝の栽培でピーマン40トの出荷を達成しています。市内の多くの集落営農組織が転作作物として小麦や大豆を選択する中で、複合部門としてピーマン導入の先駆けであり、JA花巻におけるピーマンの大規模生産者として品質の揃った



構成員とTAC

今後、ピーマン部門の収益性を高めるために、作業の競合を回避するための水稲の直播栽培の取り組み、需要の動き合わせたピーマン生産技術体系の確立や出荷できないものの商品化の取り組みなど、新たな課題解決の研究と販売対策に取組むたいと意欲を持って取り組んでいます。

「確実に利益を得る農業」をすすめたい

現在の農業経営の課題は「地域農業の後継者の確保」と「生産したものを確実に現金に換えること」であり、そのためにもビジネスパートナーであるJAや全農との協力関係を強化し、着実に成果を上げることが重要となっています。

取材に参加した組合員から、全農は市場中心の流通対応を更に消費者まで伸ばすこと。JAを介した生産者情報の把握に留まることなく生産者との直接対話により「農家の置かれている現状をシッカリ理解し、全農の方針を明確に示すこと。」「が、生産者及び消費者の相互理解と安心につながるものであり、生産者に「日本農業を守るために一緒にやりましょう。」と自信を持って提案して欲しいと要望されました。

（農）HHA泉畑がめざしている「確実に利益を得る農業」を実現するために、技術の革新やマーケティングに基づいた農業生産に取組み、地域農業の担い手として集落営農のビジネスモデルとして活躍されることをご期待いたします。

農事組合法人 HHA 泉畑概況

- 代表：代表理事組合長 戸来邦次
- 設立：平成26年1月7日
- 住所：花巻市太田41-153
- 組合員：11名
- 営農規模：水稲12.5ha 大豆7.6ha
ピーマン1ha
- 施設機械：事務所1棟



あけましておめでとうございます。昨年は初めての広報担当者として、さまざまな農業イベントなどを取材させていただきました。その中で、自分の見たことも感じたこともない農業の世界を、取材を通して体験することができ農業の魅力が再発見した一年となりました。

今年はそういった農業の魅力を発信する立場となれるよう努力したいと思っています。どうぞ宜しくお願いします！

（山本）



後編記集

各部から最新情報をピックアップいたします。

各部発直行便



トピックス

営農対策部

本県JAの担い手に出向く活動が高い評価！
TACパワーアップ大会2014でW受賞の快挙！！



地域農業の担い手に出向くJA担当者（TAC）の全国大会「TACパワーアップ大会2014」が、去る12月4～5日に横浜市で開催されました。7年目を迎えた今回、TAC活動全般を評価する「JA表彰の部」に本県のJA新しいわてが選出され、併せて最高賞の全農会長賞を初受賞しました。同JAではTACが担い手とJAとのパイプ役となり、新技術の実証・普及や若手グループの活動支援等、地域農業振興への様々な取り組みが高く評価されました。また、米の集荷に関する取り組みや成果を対象とした「特別表彰の部」には本県のJAいわて花巻が選ばれ、「米200万袋集荷推進運動」の取り組みが評価されました。今大会で全国表彰された7JAのうち本県から2JAが同時受賞したことは快挙であり、全国の参加者から岩手への熱い視線を感じました。JA全農いわてでは、名誉ある受賞を励みに、県内JAとともに担い手対応の更なる研鑽を重ね、TAC活動のレベルアップと充実をはかって参ります。

（担い手対策課）



受賞JAのTAC活動事例を発表する、JA新しいわての館崎営農経済部部長代理（右）と、JAいわて花巻の瀬川営農振興課長（左）

畜産酪農部

「いわての牛乳 ありがとうキャンペーン」開催！！

JA全農いわてでは、「日ごろのご愛顧に感謝！！これからも愛される『いわての牛乳』を目指して！」をコンセプトに、「いわての牛乳 ありがとうキャンペーン」を開催します。

毎年おこなっている「いわての牛乳プレゼントキャンペーン」も今回で9回目となります。そこで、日ごろからいわての牛乳を飲んでくださっている皆さまに感謝を伝えるキャンペーンということで、このコンセプトを設定しました。

今年は、当選チャンスを2回としました♡チャンス1では今大人気の商品やこの冬おすすめの景品が当たり、チャンス2では、ハズレた人の中から、いわての乳製品、いわて牛セット等の景品が当たります！総当選数は390（サンキュー！）名です。また、告知CMでは、対象メーカーの牛乳を掲載する等、工夫を凝らしてキャンペーン展開します！例年以上に魅力溢れるキャンペーンです！たくさんのご応募をお待ちしております♡

★キャンペーン期間：1月13日（火）～2月28日（土）まで

★応募締切：2月28日※当日消印有効

★応募条件：対象メーカーの牛乳パックに記載の「公正マーク表示部分」を10ℓ分（1ℓ＝10枚、500mℓ＝20枚）を1口としてご応募ください。
公正マーク表示部分の種類別名称に「牛乳」以外の名称が記載されているものはキャンペーン対象外です。



（酪農課）



サンキュー ご愛顧に感謝!これからも愛される「いわての牛乳」を目指して!

いわての牛乳

ありがとうキャンペーン

合計 **390** 名様に抽選で当たる!

2015 **1/13** ~ **2/28**

期間 火曜日 土曜日

チャンス1 お好みの賞品を選んで当たる!

A賞



N'Zair 旅行券3万円分

10名様

B賞



ソニー レンズスタイルカメラ

10名様

C賞



パナソニック 衣類スチーマー

10名様

D賞



オムロン レッグマッサージャー

10名様

E賞



DOSHISHA スープメーカー

10名様

F賞



JCBギフトカード 3,000円分

50名様

チャンス2 A~F賞に 抽選でいずれかが当たる!



いわて牛焼肉 モモ・バラミックス

50名様



いわての 乳製品詰合せ

100名様



牛乳でつくる ぶるんデザート3種

70名様



紙バックハンドル

70名様

対象メーカー





















応募方法

対象メーカーの牛乳パックに記載の公正マーク表示部分を10ℓ分(1ℓ=10枚、500ml=20枚200ml混合可)を1口として、専用応募封筒または一般封筒に必要事項を明記の上、ご応募ください。

お一人様何口(1口10リットル分)でもご応募いただけます。

公正マーク表示部分はココだよ

公正マーク表示部分の種類別名称に「牛乳」以外の名称が記載されているものはキャンペーン対象外です。



私たち全農グループは、
**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**
になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA 全農いわて 総合企画課
JA 全農いわてホームページ

〒020-8605 盛岡市大通一丁目2番1号 TEL019-626-8615 FAX019-653-6145
<http://www.junjo.jp>

